様式第13号(第24条の2の2第4項関係)

**専門業務型裁量労働制に関する協定届**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業の種類 | 事業の名称 | 事業の所在地（電話番号） |
| ソフトウェアの開発 | 株式会社　○○○○ | 渋谷区南平台町〇－〇－〇　（　　00-0000-0000　　） |
| 業務の種類 | 業務の内容 | 該当労働者数 | 1日の所定労働時間 | 協定で定める時間 | 労働者の健康及び福祉を確保するために講ずる措置(労働者の労働時間の状況の把握方法） | 労働者からの苦情の処理に関して講ずる措置 | 協定の有効期間 |
| 新商品若しくは新技術の研究開発の業務 | 開発スケジュールに基づき、新商品の開発､制作を行う。 | １０名 | ８時間 | ８時間 | ２ヶ月に１回、所属長が健康状態について報告を受け、必要に応じて特別健康診断の実施、年次有給休暇の取得の促進、特別休暇の付与を行う。（　　タイムカード　　　） | 毎週指定曜日に苦情処理委員が裁量労働相談窓口を設け、裁量労働制の運用、評価制度及び賃金制度等の処遇制度全般の苦情を扱う。委員は本人のプライバシーに配慮した上で総務部に報告し総務部はその報告に対し適切な措置を講ずる。 | 〇〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇〇年〇月〇日 |
| 情報処理システムの分析、設計の業務 | 情報処理システムのニーズの把握、分析、評価、改善を行う。 | １２名 | ８時間 | ８時間 |
| 時間外労働に関する協定の届出年月日 | ○○○○年○月○日 |

協定の成立年月日 ○○○○年○月○日

協定の当事者である労働組合の名称又は労働者の過半数を代表する者の 　　　 　職　名 　○○○○

氏　名 　○○○○

協定の当事者（労働者の過半数を代表する者の場合）の選出方法　　（ 　　回覧による信任　　　）

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。☑（チェックボックスに要チェック）

　上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第２号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。☑（チェックボックスに要チェック）

○○○○年○月○日 　　使用者 職　名 　代表取締役

氏　名 　○○○○

＿＿＿＿＿労働基準監督署長　　殿